

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	産業振興課			電話番号	直通	989-5516
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいすみ					
政策	持続的に発展するまちの実現			施策分野	観光・交流	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	76,389 千円		今年度 予算額	75,063 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	観光交流客数	目標値	28.0	32.0	34.0	36.0	38.0	42.0	万人	D
		実績値	31.5	18.6						
2	にぎわい交流イベントの 開催数	目標値	15	25	17	17	19	20	回	D
		実績値	15	15						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			C：進捗が思わしくない		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	長泉わくわく祭り等のイベント実施、長泉ママラッチ（タウンセールス）による情報発信、観光交流協会の運営支援、伊豆半島ジオパークの推進、ハイキングコース、案内標識等の観光施設整備、民間にぎわい交流イベントの開催支援、国内姉妹都市（長野県青木村）との交流を推進
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・伊豆半島ジオパークの構成資産である鮎壺の滝や世界かんがい施設遺産の本宿用水など町観光資源に、旅行事業者と連携して観光客誘致を進めている。旧ヴァンジ彫刻庭園美術館の閉館による影響は大きい。当該施設は県に無償譲渡され、県では民営化の可能性を探りつつ、直営も視野に検討を進めている。 ・にぎわい交流イベント支援事業費補助金を創設し、伴走支援するなど新たな活動を支援しているが、補助期間終了後の継続に繋がっておらず、主催者の育成に至っていない。 ・ハイキングコースは、令和6年の大雨等によりコースの一部が崩落するなど、安全に利用するための動線が確保できていないため、現在、通行を禁止している。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・第3期観光交流ビジョンの期間が今年度で終了するため、ビジョンの評価、見直しを図り、第4期観光交流ビジョンを策定し、ながいすみ観光交流協会や関係団体とも連携して「交流」をモチーフとした観光交流を推進する。 ・にぎわいと交流の拠点である鮎壺公園が整備され、既存観光資源と合わせて、民間イベントと連携するなど、公園内の交流施設の有効活用を含め、観光資源の活用を進めていく。 ・既存イベントの充実や下土狩駅前コワーキングスペースと連携した新たな民間イベントの開催支援としてセミナーの開催を行い、主催者となる団体等を育成やチャレンジイベントを開催するなどまちのにぎわいを創出していく。 ・旧ヴァンジ彫刻庭園美術館については、県の利活用基本計画を踏まえた上で、クレマチスの丘周辺の活用について方向性を再検討していく。